第663回福崎町教育委員会会議録

開催日時 令和6年5月29日(水) 10時00分～11時55分

開催場所 サルビア会館 2階 研修室

出席委員 高橋 渉、井奥智子、中田貴子、西村照明

事務局 学校教育課長 大塚謙一、社会教育課長 木ノ本雅佳

1、開会

2、第662回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として井奥委員・西村委員を指名しました。

3、教育長報告

(1) 園・小・中学校(4月・5月当初の様子)

こども園では、福崎幼児園で発熱や胃腸炎での欠席が多くありました。毎年各園でこの時期は発熱での欠席が多いと聞いています。退園や入園が多く、保護者と離れるのに慣れない子どもがまだ多くいます。難病の園児の保育に留意しています。園長から運営上の留意点として、保護者対応で誤解がないようにし、昔ながらの保育にならないよう丁寧な対応に努め初期対応を重視したいと報告がありました。八千種幼児園で発熱による早退、低血糖による入院がありました。4月当初は子どもが慣れず母親が困られている状況でした。食事の時に配慮が必要な子どもに保育士1名が付き添っています。園長は新任の配置や若い保育士の着任により今まで通りの園運営ができないため、保育士の共通理解に努めたいと運営上の留意点をあげています。田原幼児園は中耳炎、風疹、アデノウィルス、ヘルペスや発熱後に全身に発疹の子どもが4～5名いました。職員で疲れのために声が出ない者が数名いました。発熱後一日は体力回復のため子どもを休ませよう依頼していますが、保護者に仕事があるため仕方なく登園させる現状があります。一か月が経ち子どもたちは園にだいぶ慣れてきました。園長から運営上の留意点として、特別な支援が必要な子どもへの関わり方や、職員が多いので報告・連絡・相談をより一層強めたいと報告がありました。高岡幼児園は、ぜんそくで入院した園児が退院後すぐに登園し悪化することがありました。また、熱で迎えが必要になったときに連絡すると「様子を見て欲しい」と迎えに来られず高熱になり救急車を呼ぶか迷うことがありました。高岡幼児園は人数が少ないので、異年齢保育や他の園との交流を取り入れたいと考えています。姫学こども園はRSウィルス感染が5名、発熱からの熱けいれんが1名ありました。園長は、地域柄、保育士と保護者の距離感が非常に近いので、職員が立場を自覚し誤解を招かない保護者対応に努めたいと運営上の留意点をあげています。サルビアこども園は、コロナ1名、ヒトメタ5名、49名が発熱で欠席しました。福崎小学校と5歳児が月1回程度の交流を持っており楽しみにしています。運営上の留意点として、支援の必要な子が多いが、子ども全員にバランスの良い関わりに努め、すべての保育士が同一歩調で関わるように努めたいと園長から報告がありました。

小学校では、福崎小学校は全国学力調査をきっかけに文部科学省が求めている学力を職員が共通理解をする必要があるという意見がありました。5月は河川敷公園で小学生と東中生徒とのトラブルや、吉田クリニック周辺のボヤで下校時に通学路を変更することがありました。また、発熱、下痢、嘔吐での欠席が多くありました。高岡小学校は、疲れから体調を崩している職員が見受けられるため、職員の健康や体調に留意をしています。1年生の複式学級では2年生を怖がる1年生がおり気を付けながら

指導しています。複式学級全般については大きな問題はありません。田原小学校は、全国学力調査で問題用紙と解答用紙が分かれていることに子どもたちが非常に戸惑っていたようです。水道管が古くなり水漏れが数か所出ています。5月は教室に入れない児童3名が保健室登校、3名が「ほんわか」教室を利用しています。八千種小学校は、生徒指導上の課題はありません。昨年、学習習慣が身につけていない子どもが多く見受けられた1年生が2年生になり、随分落ち着いてきたと嬉しい報告を聞いています。また、怪我により車椅子で校内生活をしている児童は教室移動に補助がいるため不便です。保護者から鼓笛隊が今も続いていることを喜ぶ声がありました。

中学校では、福崎西中学校でグループラインを組んでいる9名による仲間はずれの問題があり指導しました。「トライやる・ウィーク」への協力事業所が多くあり、4事業所に生徒の希望がなく校長からお断りのお詫びをしています。修学旅行は前日に発熱し欠席した生徒が1名いました。また、生徒だけでロケット花火をするという事案があり指導しています。コロナの感染が1名ありました。福崎東中学校でもラインにより他校生とトラブルになった生徒がいました。昨年まで教室に入れなかったが今年は教室に入れるようになった生徒が増えていると嬉しい報告を聞いています。「トライやる・ウィーク」では2事業所にお断りのお詫びをしました。部活動では、学校外のクラブチームに所属する生徒が多く、野球部では1、2年生だけではチームが組めない状況になるので、今後西中と合同チームにする予定です。修学旅行では2名が欠席、参加者の内1名が発熱で病院対応をしました。また、1年生の自転車通学での転倒などによるケガが3件ありました。1年生は自転車に乗ることに慣れておらず危険な状態なので気をつけています。不登校生のための校内の教室「ステップルーム」の環境整備を行いました。

部活動について、3年生は7月の中播総体で大半が引退となりますが、その後色々な状況が出てきています。西中の男子バレー部は東中とチームを組み拠点校方式として各大会に出場します。東中の野球部は西中と合同チームで各大会に出場し、東中ソフト部には神河中の生徒が入り合同チームとして各大会に出場します。

学童保育園の5月の様子は、特段変わったことはありません。土曜日だけは人数が少ないため、西部と東部の両方の保育を東部で行っています。そのため、指導員による子どもの理解が不十分で指導や保育がしにくい面があり、当分の間、指導員を1名追加して土曜保育に当たっています。八千種学童は7月16日まで閉園し、夏休みに再開する予定です。

(2) 確認・報告事項

運動会は6月1日(土)の午前中開催です。

遠野市との児童交流の参加希望者は5月31日が締め切りで定員は15名ですが、5月28日現在で福崎小4名、高岡小1名、田原小35名、八千種小10名の合計50名の希望者があります。

(3) 協議・検討事項

<社会教育課>

野外活動センターの夜間の対応について課題が生まれています。日帰りの時間の規定がありませんが、日帰り利用者が遅くまで騒ぎ宿泊客に迷惑をかけている状況です。今までは、個人のマナーに任せていましたが、現状では要綱等を改正する必要があると感じております。協議事項で規程の一部改正について協議します。

(4) 6月の予定

6月の主な予定について、資料に基づき報告しました。

今回の教育委員会は、6月28日（金）の総合教育会議終了後に開催します。

（西村委員）高岡幼稚園の報告で、救急車を呼ぶか迷ったとありましたが、子どもの状態による対応マニュアルのようなものはありますか。

（高橋教育長）各園で救急車対応のマニュアルを作っています。例えば、首から上の怪我や高熱で意識がない等、そのような項目を設定しマニュアルを作っています。今回の場合は、高熱になって保護者に連絡したが、保護者が来ないという状況だと聞いています。結局、救急車は呼ばずにそのまま熱が下がっていきました。

（西村委員）いざという時に、考え方と判断の基準が個人に偏らないようにマニュアルはあった方がいい。職員が同じ行動を取るためにマニュアルがあれば安心です。

（高橋教育長）マニュアルも一度作ったら終わりではなく、現状と合わないマニュアルも見受けられるので、毎年見直していきたくと思っています。

（中田委員）2点うかがいたいのですが、福崎幼稚園の報告の「昔ながらの保育」とはどういうものですか。また、八千種幼稚園では若い保育士が着任したため、今まで通りの園運営ができないということでしたが、そのことによって子どもの保育にどう影響していますか。

（高橋教育長）福崎幼稚園の「昔ながらの保育にならないように」というのは、小中学校で言うと、今までは学校に従わせる指導だったのが、今は子どもの様子を聞いて子どもに合わせるように変わっていていると思います。同様に「昔ながらの保育」とは園主導の保育で、そうならないように、子ども主体の保育を行うことだと思います。また、八千種幼稚園の今まで通りの園運営は、今まではベテランが多かったため細かい指示をせずとも気づいて保育していたところが、今度は新任であるため細かく指示していかないといけないという運営だと思います。

（西村委員）部活動にはそもそも入部していない生徒もいるのですか。

（高橋教育長）一概には言えませんが、かつては全員部活動に入部しなければならなかったのですが、現在は希望制に変わっています。そのため、部活動に入っていない生徒も以前よりは増えています。福崎町の生徒の場合、理由なく入部していない生徒はいないと思っています。例えば、習い事や外部のクラブチームに通うため、学校の活動は入りませんという理由などがあります。

4、協議事項

（1）福崎町町外通園通学児童生徒給食費補助金交付要綱の制定について

令和6年4月分から6か月分の給食費無償化により、町外の認定こども園、小中学校に通園通学する子どもに対しては、給食費として支払われた分を後で補助金として交付するため、根拠となる要綱として制定します。この要綱は公布の日から施行し、令和6年4月1日から適用しますが、令和7年3月31日限りでその効力を失います。

資料に基づき、要綱の制定について協議し、教育委員会は承認しました。

（西村委員）6か月分の無償化の後、続きはどうなるかという意見が必ず出てくるとは思いますが、何か財源があるのですか。

（大塚学校教育課長）教育委員会は財源を持っていません。町長部局に国が支給する物価高騰対策交付金があり、その金額が半年分相当であることから無償化は半年間と定められているので、新しい財源が見つければ延長されるかもしれませんが期間限定となっています。

（西村委員）今回この要綱が制定されるということは、なにか新たな財源が確保できたのかと思いましたがそうではないのですか。

（大塚学校教育課長）給食費の無償化は、要綱を定めずとも無償化されているのです

が、町外に通園通学している方は後から請求書を提出してもらって補助金を交付するという方法になるため、補助金交付要綱を制定します。要綱が令和7年3月31日限りで終わるというのもそのためです。

(2) 福崎町青少年野外センター管理及び運営に関する規程の一部改正について

福崎町青少年野外センターの現在の規程は利用時間等の設定が曖昧であり、また、管理人が午後5時以降不在となることから苦情が発生しており、今年のゴールデンウィークには夜10時過ぎまで大音量で音楽を流し大声で騒ぐ利用者があり、警察への通報も発生しました。このため、利用時間等を明確にするため規程の一部を改正します。施設入場の受付時間は、午前9時から午後4時までと明記し、「日帰り」と「宿泊」利用を定義します。

資料に基づき、規程の一部改正について協議し、「日帰り」は午後6時まで、「宿泊」は午後6時を超えての利用であるとする事で、教育委員会は承認しました。

(西村委員) 改正後の規程では、日帰り利用の利用時間を午後8時としていますが、何か基準はありますか。

(木ノ本社会教育課長) 農林振興課が所管する春日山キャンプ場では午後5時としていますが、野外センターは春日山キャンプ場と比べ日帰り利用でバーベキューをされる方が多いため、午後5時までの利用だと終了が早くなってしまうので、片づけも含めて午後8時という設定にしています。

(西村委員) 今回の事案に対して理想を言うなら、管理人が午後5時までの勤務であるなら、監視の意味でも管理人のいる時間帯で閉めるのが妥当ではないかと思えます。ただ利用の実態を考えた時に、逆に利用者に影響が出るのであれば考慮は必要だとも思いますが、午後8時で必ず帰ってくれるのかと考えた時に、歯止めにするには弱いと思いました。

(木ノ本社会教育課長) 6月から8月を想定し、明るい時間はめいっぱい使用する人が多いということもあり、午後5時では利用されてる方まだたくさんおられるので、施設管理人の思いとしてももう少し利用してもいいのではということで、午後8時としました。実際今も午後8時以降は大きな声を出さない等張り紙をしており、午後8時は一つのガイドライン的な時間になっています。

(中田委員) 私も午後8時は遅いと思います。日帰りは午後5時までで、夕方にバーベキューをされるなら夜間料金で行えばいいのではないかと思います。

(高橋教育長) 野外センターは青少年のための施設なので、良心やマナーというものを大事にしたいという思いがあり、管理人とも相談して午後8時という時間が出てくるのならそれでもいいと思いましたが、使用料が安いのであれば、夕方のバーベキューは宿泊料金でもいいのではないかと考えています。

(西村委員) 午後6時にすると、日帰りの方は6時に帰られる前提での動きをおそらく取られるが、基準が午後8時になれば少し無理があるのではないかと思います。青少年の施設であるなら、そういった時間枠なのだと思うのではないのでしょうか。

(木ノ本社会教育課長) 青少年の健全育成を目的とした施設ですので、いただいたご意見を参考に日帰り利用の時間を午後6時までで修正し、手続きを進めさせていただきたいと思えます。

5、報告事項

学校教育課

(1) 「トライやる・ウィーク」について

資料に基づき報告しました。中学2年生が体験学習を行う「トライやる・ウィーク」

は6月3日～7日までの5日間、一部土曜までの予定で実施します。5月7日に福崎町「トライやる・ウィーク」の推進協議会と指導ボランティア会議を開催し、今年度の活動内容について確認しました。新規の事業所が7事業所、お断りした事業所が6事業所あり、受入事業所は63事業所です。東中学校97人、西中学校95人の合計192人が参加する予定です。

(2) 遠野市との児童交流事業について

資料に基づき報告しました。平成30年度から始まり、コロナ禍で令和2年度と3年度は中止となり、今年度が5回目の実施です。また、今年度は福崎町と遠野市の友好都市共同宣言10周年記念事業として実施します。

対象児童はこれまで同様に、小学校6年生15人で、8月25日(日)から27日(火)の2泊3日です。福崎町を8時に出発し、伊丹空港から花巻空港に12時50分着、帰りは花巻空港を15時35分に出発し、福崎町に19時頃着く予定です。交流概要については現在調整中ですが、遠野市を表敬訪問する時間帯に、福崎町と遠野市の友好都市共同宣言10周年記念式典に参加します。参加費用は、飛行機代や宿泊代の高騰により児童一人につき2千円増の2万2千円としています。

引率者は5人で、教育長と小学校長代表1人、教諭1人、養護教諭1人と教育委員会職員1人です。現在各学校で申し込み中で、期限は5月31日(金)までです。申し込み締め切り後、これまでと同様に公平公正に抽選を実施して参加児童を決定したいと考えています。抽選会は6月26日(水)午後7時からエルデホールで行います。

(3) 入札結果について

資料に基づき報告しました。福崎町立小中学校校務用パソコン等更新は、小中学校6校の学校教諭が使用する校務用のノートパソコンとセンターサーバー等をリースにて60か月使用するものです。5月7日に入札を行い、(株)ニチワ姫路支店が税込み172,906,800円で落札しました。

特別教室空調設備等設置工事は、小中学校6校の特別教室や職員室等に空調設備とLED照明等を設置するものです。5月27日に入札を行い、テラマエ設備工業(株)が税込み283,690,000円で落札しました。各校の空調設備整備は、図書室や家庭科室、理科室などのこれまで空調設備がなかった部屋53室に新たに設置します。職員室やコンピューター室、校長室など空調設備が老朽化しているものの更新は25室あります。工事期間は、令和7年2月28日までとし、夏休みを中心に工事を進め、できるだけ早期の完成を目指します。

(西村委員)校務用パソコン等の更新は現行のハードの処理費も含まれていますか。

(大塚学校教育課長)処理費は含まれていません

(西村委員)当然色々と検討されてると思いますが、パソコンには個人情報が入っているため簡単には捨てられません。きちんと認可の下りにいる業者に引き取ってもらい、しっかりデータ処理する必要があります。

(大塚学校教育課長)以前はリースでしたが、今はリース終了で福崎町のものになっています。古いパソコンの処理については、役場の中でも今までも個人情報が入っているパソコンを処理していますので、町情報管理係と連携しながら、注意して適正な処理をしていきたいと思っています。

(4) その他

6月定例議会提出議案について、入札結果で説明した小中学校の特別教室空調設備等設置工事の請負契約に係る議案の提出を予定していることを報告しました。

社会教育課

(1) 三木家指定管理の事業報告について

資料に基づき報告しました。令和5年度も文化財をまちづくりに活用する取り組みを進め、年間を通して指定管理を行い、年間利用者は2,479人となりました。収支差引額の年間合計は、約693万円の黒字となっていますが、収支差引額から借入金返済や修繕、退去の際の収去積立金を差引いた合計額は、約133万円の赤字と報告を受けています。

(2) 地域文化財総合活用推進事業について

資料に基づき報告しました。令和6年度は令和5年12月12日付文書で各自治会及び保存会にお知らせしたところ、後継者養成は2団体、用具等整備は8団体から申請がありました。両事業で6,074,000円の要望額に対し、国から5,265,000円の配分の内示がありました。採択率は86.68%です。5月1日に開催した文化遺産活性化実行委員会で、各団体への配分額を決定しました。補助率は約73.6%です。

(3) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。福崎町図書館高圧受電設備改修工事の5月15日現在の進捗率は20%です。資材等は発注済みですが納期が未確定のため、4月の報告から進捗率に変更はありません。工期を令和7年3月28日まで延長し、完成を目指します。

(4) 今後の予定

資料に基づき報告しました。

6、閉会

以 上

署名委員 井 奥 智 子

署名委員 西 村 照 明